

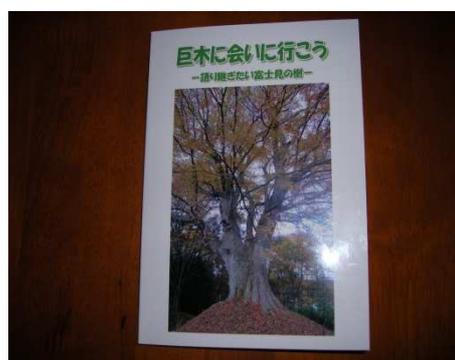
平成28年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	町内にある地域の巨木、遺跡などをハンドブックに作成する事業
事業主体 (連絡先)	巨木めぐりの会 諏訪郡富士見町境4288-6 TEL0266-65-3690
事業区分	5 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	453,600円 (うち支援金:340,000円)

事業内容

富士見町は、朝夕の八ヶ岳、入笠山の夕日、富士山の美しい眺めなど沢山の自然景観が残っています。その自然景観が気に入って永住を決めた方々が沢山います。しかし、その一方で緑があることで、

- ・ 昔から生活の中に溶け込み活用されてきた木を簡単に切ってしまう残念なこともある。
- ・ 町広報で「巨木シリーズ」を掲載したことから、広報だけの一過性にせず、巨木を通して今の自然や、昔から地域にある遺跡などを守る事の大切さに気が付いてもらうきっかけにしたい。
- ・ 町の協力も得られ、携帯できるハンドブックに作成することにしました。



ハンドブック
「巨木に会いに行こう」
—語り継ぎたい富士見の樹—

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今年度は、ハンドブック作成事業を行いました。町、地域の協力があり、皆とても良い経験をする事ができました。

- 1、町、地域の協力もありハンドブックの作成ができた。
- 2、作成するために、皆でカメラや巻尺を使い沢山の巨木に触れながら一年半の確認作業を通し、改めてハンドブック作成をする大切さを認識しました。
- 3、新聞掲載された“巨木のハンドブック作成中”の記事を見た方から「家にも大きい木があるから見に来てくれないか」との嬉しい連絡をもらった。

【目標・ねらい】

- ① 地域の大人に理解してもらう。
- ② 子ども達に機会あるごとに活用してもらい、巨木から地域のことを知ってもらう。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・ 目印が無く地図がわかりにくい。
- ・ 各巨木のタイトル表示が良い。
- ・ 四季を楽しむためのチェック記録を付けたのが良い。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ☆ ハンドブックは、巨木を通して地域のこと、自分の町の知らなかった魅力を再発見し後世の人々にも伝えるための取り掛りの一つの資料となるようにしたい。
- ☆ 今後このハンドブックを上手に活用するために、会員自身が手元にできるだけ多くの資料を持ち、町、地域、学校、グループなどと連携しながら進めたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある